

前回の振り返り

先月号では、下川町の人口動態や将来推計を示しながら、人口減少や高齢化がもたらす今後の課題をお伝えしました。
また、このような課題の解決に取り組むことを目的として設置された組織である、タウンプロモーション推進部の概要についてご紹介しました。



▲先月号の内容はこちら

今月号では、具体的なタウンプロモーション推進部の取り組みについてご紹介します。取組み一覧は先月号をご覧ください。

下川町に興味を持つきっかけ作り、移住を後押しする取り組みをしています!

具体的には、次の5つの手段を用いて、下川町移住へのきっかけ作りや移住に向けたお手伝いをしています。

- ① 最初の接点作り
- ② イベントの実施
- ③ 体験・下見
- ④ 移住相談
- ⑤ 移住後サポート

① 最初の接点作りについては、町の魅力がより伝わるようなウェブメディアや雑誌を選定し、移住に興味関心が生まれるきっかけ作りをします。LINE公式アカウントなどインターネットも活用しています。

② イベントの実施は、東京や札幌へ赴いていますが、コ

ロナ禍以降は、都市部への往来が難しくなったため、インターネット等を利用したイベントなどに力を入れてきました。これらの平均参加者数は約20名以上。下川町と親和性の高い移住検討者に届くよう毎回慎重にテーマを選定。イベント参加をきっかけに、移住準備計画「1年後移住するぞ!プロジェクト」への加入や、実際に移住をした人もいます。

③ 体験・下見は、2泊3日で下川暮らしを体験できるツアーです。毎回テーマを設定し、移住検討者10名ほどを迎えて実施。下川町と相性が良い人が興味を持つようなテーマ選びや下川町での暮らしがイメージできる工夫をしています。ツアー参加から移住につながる人が多いのが特徴です。同じくコロナ禍以降は実施していません。

④ 移住相談は従来の移住視察や電話・メール・相談のみならず、テレビ会議機能やLINE等のインターネットも利用して移住の相談を受けています。

⑤ 移住後サポートは、寛容な町民性を活かした町民交流会(タノシモカフェ)です。月1回開催し町民をはじめ、移住検討者・視察者・下川ファンなど、誰でも参加できる場になっています。コロナ禍以降は、町民限定など状況に応じて開催しています。タノシモカフェでは、移住検討者が移住前により深く下川町のことを知る、移住者が友達を作るなど、様々な効果がもたらされています。



町内事業所への就職を支援しています!

地域の課題の一つである、後継者・人材不足を解消し、産業の活性化を目指すため、町内外の求職者に対して就職支援を行っています。

まちの仕事を紹介する求人サイトとして開設した「しもかわ人財バンク」では、事業所の求人情報をお知らせしています。

さらに、求職者は事業所に対して、サイト上から応募ができるなど、情報収集から就職までを一元でサポートできる仕組みを整備しています。



また、地域の事業所が集まり、会社説明・面談等を行う「合同企業説明会」の開催や北海道の制度を活用した、移住支援金や起業支援金といった補助も行っています。

今後も就職支援を通して、地元産業の労働需要や求職者の希望に答えられるよう取り組みを進めていきます。

企業のサポート、担い手準備軍との関わりもつくっています!

新事業の創出による内発的発展をはじめ、地域産業への刺激や波及、相乗効果を図るため、国の地域おこし協力隊制度を活用し、地域に関連した事業の展開を目指す起業希望者を「シモカワベアーズ」として支援しています。

人財は、「好きを仕事に」を切り口に、やりたいことを形にしようとする起業希望者。毎年度一人ずつ採用し、町内の経営者等にご協力をいただきながら、週1回の振り

返りや、月1回の事業相談、定期的な事業報告会を開催しています。報告会では、住民の皆さんに事業進捗をお知らせし、関わりを作る機会を設けています。



また、「シモカワベアーズ」以外にも、遠方に住みながらも、いつかは下川町「で」何かしたい、下川町「と」何かしたいと考えている方々もいます。このような方々を将来の担い手予備軍として、その実現を後押しするため、「シモカワベアーズラボラトリー」というインターネット上で意見交換ができる場を運営しています。

この場では、このような思いを持った方々が、都市部等に在住しながら下川町の様々な情報を手に入れ、インター

ネット上でアイデアや企画を相談・提案できる仕組みも整えています。

